



# 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シモジマ

コード番号 7482 URL <http://www.shimojima.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下島 和光

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理本部長 (氏名) 谷中 浩三

TEL 03-3862-8626

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,249	△4.6	391	△17.3	406	△16.5	220	△11.4
23年3月期第1四半期	11,796	4.7	473	△38.6	486	△39.1	248	△43.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 196百万円 (△21.4%) 23年3月期第1四半期 249百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
24年3月期第1四半期	9.31	—	—	—
23年3月期第1四半期	10.50	—	—	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円	百万円	円	%	円
24年3月期第1四半期	34,490	—	28,096	—	81.4	1,190.72
23年3月期	35,002	—	28,387	—	81.1	1,196.19

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 28,079百万円 23年3月期 28,368百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期(累計)	22,570	△2.4	695	△9.9	733	△7.9	374	△9.0	15.79
通期	47,969	△0.4	2,373	△5.0	2,466	△5.5	1,368	6.3	57.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	24,257,826 株	23年3月期	24,257,826 株
24年3月期1Q	676,182 株	23年3月期	542,261 株
24年3月期1Q	23,677,709 株	23年3月期1Q	23,715,757 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災によるサプライチェーンの寸断のために生産活動・輸出が減少し、さらに、電力供給の制約及び自粛ムードの広がりによる消費マインドの悪化により、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループは、基本理念である「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」ことを基本に、販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。しかしながら、震災の影響によって発生した需要の停滞により売上の減少傾向から脱却できない状況が続きました。生産部門においては、震災の影響に伴う生産設備の改修及び点検等により一部製品の生産がストップする等の影響が生じました。また、4月1日より中国からの輸入仕入における特惠関税の廃止、及び原材料の値上げに伴う化成品等のコスト上昇を販売価格に転嫁できない環境で推移いたしました。しかし、販売費及び一般管理費については、物流費、人件費ほか全般を減少させることができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は112億49百万円（前年同期比4.6%減）となりました。利益面においては、連結営業利益3億91百万円（前年同期比17.3%減）、連結経常利益4億6百万円（前年同期比16.5%減）、連結四半期純利益2億20百万円（前年同期比11.4%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### [紙製品事業]

紙袋・包装紙・紙器は当社グループの主力商品であり、主に当社オリジナルブランド商品を販売いたしております。当第1四半期においては、紙袋及び包装紙はイベント関連商品の拡販を、紙器については特注品の受注に注力いたしました。しかしながら、震災の影響によるイベントの中止、規模縮小さらには延期、景気停滞による需要の減少等の影響、一部商品の競合の激化等厳しい環境が続いております。この結果、紙製品事業の連結売上は20億94百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

#### [化成品・包装資材事業]

ポリ袋・PP袋等の化成品と粘着テープ・食品関連包材・紐リボン等の一般包装資材は社会ニーズに適合した環境配慮型商品開発を推進し販売強化を図り、ポリ袋等化成品の薄肉化は進んでまいりましたが、競合の激化により特惠関税の廃止及び原材料の値上げに伴う化成品等のコスト上昇を販売価格に転嫁できない状況が続きました。また、震災による影響とみられる需要の停滞等厳しい環境で推移しました。この結果、化成品・包装資材事業の連結売上は56億80百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

#### [店舗用品事業]

事務用品・商店用品・日用雑貨等を含む店舗用品事業は、当社オリジナルブランド商品を含め多岐に亘っております。「店舗及びオフィスで使用するあらゆるものが揃う」を基本コンセプトにした販売体制を確立し推進してまいりました。しかしながら、震災による影響の他に一部商品の取引の減少等により、厳しい環境となっております。この結果、店舗用品事業の連結売上は34億74百万円（前年同期比6.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、344億90百万円となり、前連結会計年度末に比べて5億11百万円減少しました。流動資産は170億82百万円となり、6億62百万円減少しました。主な要因は、たな卸資産が6億47百万円増加しましたが、現金預金が10億84百万円減少したことによるものであります。固定資産は174億8百万円となり、1億50百万円増加しました。主な要因は、ソフトウェアで1億20百万円等増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は63億94百万円となり、前連結会計年度末に比べて2億20百万円減少しました。流動負債は44億3百万円となり、2億18百万円減少しました。主な要因は、法人税等の納付で未払法人税等が5億87百万円減少したことによるものであります。固定負債は、19億91百万円となり、2百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産額合計は、280億96百万円となり、2億90百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金が1億35百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント上昇し、81.4%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月10日公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
税金費用の計算

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,183	6,099
受取手形及び売掛金	5,005	4,730
有価証券	50	—
商品及び製品	4,532	5,200
原材料及び貯蔵品	476	456
その他	512	613
貸倒引当金	△16	△17
流動資産合計	17,744	17,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,107	5,034
土地	7,279	7,279
その他（純額）	1,444	1,428
有形固定資産合計	13,831	13,742
無形固定資産		
のれん	219	199
その他	1,095	1,209
無形固定資産合計	1,314	1,408
投資その他の資産		
その他	2,166	2,309
貸倒引当金	△53	△51
投資その他の資産合計	2,112	2,257
固定資産合計	17,258	17,408
資産合計	35,002	34,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,523	2,516
1年内返済予定の長期借入金	3	2
未払法人税等	793	206
賞与引当金	303	94
役員賞与引当金	—	9
その他	998	1,574
流動負債合計	4,621	4,403
固定負債		
退職給付引当金	632	644
その他	1,361	1,346
固定負債合計	1,993	1,991
負債合計	6,615	6,394
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405	1,405
資本剰余金	1,304	1,304
利益剰余金	32,455	32,320
自己株式	△622	△753
株主資本合計	34,542	34,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	87
繰延ヘッジ損益	19	△9
土地再評価差額金	△6,275	△6,275
その他の包括利益累計額合計	△6,173	△6,197
少数株主持分	18	17
純資産合計	28,387	28,096
負債純資産合計	35,002	34,490

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,796	11,249
売上原価	7,974	7,622
売上総利益	3,822	3,626
販売費及び一般管理費	3,348	3,234
営業利益	473	391
営業外収益		
受取利息	12	11
受取配当金	10	3
受取賃貸料	19	16
雑収入	24	35
営業外収益合計	68	66
営業外費用		
売上割引	15	15
支払利息	0	0
為替差損	29	16
雑損失	10	20
営業外費用合計	55	52
経常利益	486	406
特別利益		
保険解約返戻金	39	—
貸倒引当金戻入額	1	—
特別利益合計	41	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	45	—
特別損失合計	45	—
税金等調整前四半期純利益	482	406
法人税等	232	186
少数株主損益調整前四半期純利益	249	220
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△0
四半期純利益	248	220

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	249	220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	5
繰延ヘッジ損益	△0	△29
その他の包括利益合計	△0	△23
四半期包括利益	249	196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	196
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	2,242	5,842	3,712	—	11,796	—	11,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	—	263	266	△266	—
計	2,242	5,844	3,712	263	12,062	△266	11,796
セグメント利益	412	531	△30	12	925	△451	473

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△451百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	紙製品	化成品・ 包装資材	店舗用品				
売上高							
外部顧客への売上高	2,094	5,680	3,474	—	11,249	—	11,249
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	251	253	△253	—
計	2,094	5,682	3,474	251	11,503	△253	11,249
セグメント利益	341	435	2	19	798	△407	391

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、内容は物流事業であります。

2. セグメント利益の調整額△407百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月23日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において自己株式が130百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が753百万円となっております。